

関係者各位

令和7年5月21日

2025 年(第 35 回)福岡アジア文化賞 受賞者発表

アジアの学術研究や芸術・文化の分野で顕著な業績をあげた方を顕彰する福岡アジア文化賞。
第35回目となる今年の受賞者は、この3名の方々に決定しました。
授賞式は9月16日(火)に開催予定です。



大賞 高良 倉吉 (77 歳)

歴史学者

琉球史研究の多方面に新境地を開いてきた歴史の表現者

- ・二度にわたる首里城正殿復興事業に関わり、2019 年から首里城復元に向けた技術検討委員会委員長として傑出した貢献を行う。
- ・琉球・沖縄史を踏まえたピースフル・ラブ・ロックフェスティバルの企画、NHK 大河ドラマの時代考証など、活動は多彩である。琉球大学名誉教授。
- ・綿密な資料分析、グローバルな視座による歴史観、卓越した行動力、分野を超えた企画立案のすべてを統合し、琉球史学を学術研究から実践の場へと広げている。



学術研究賞 ペク・ヨンソ (71 歳)

歴史学者

民衆や市民の視点から東アジアを考察する現代史研究者

- ・韓国を代表する中国現代史研究者であり、歴史研究における学術的功績に加え、社会科学・人文科学において指導的な役割を担う。延世大学校名誉教授。
- ・国境を横断して、民衆や市民の視点から「東アジア言説」を展開してきた思想家でもあり、その著書は広く翻訳され、知識人などの共感を獲得している。
- ・東アジア人としての思想的営為は、現代世界の困難な諸問題に取り組むための重要な指針を示している。



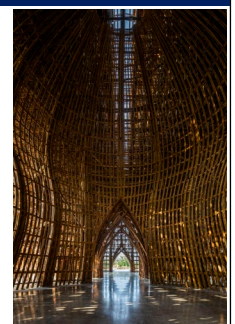
芸術・文化賞 ヴォ・チョン・ギア (48 歳)

建築家

エコロジカルな建築のあり方に斬新な提案を行っている建築家

- ・急速に発展するベトナムの都市課題を解決する建築のあり方を追究し、環境に優しいエコロジカルな建築の姿を提示。
- ・日本で建築を学び、地域の環境や植生に配慮した建築デザイン、竹や木を建築材料として扱う構造デザインなどの一連の作品で広く知られる。

©Hiroyuki Oki



2025 年（第 35 回）福岡アジア文化賞 公式行事日程（予定）

令和 7 年 5 月 21 日時点

行 事	日 程	場 所	内 容
授賞式	9月16日(火) 18:30～20:00（予定）	福岡市民ホール （中ホール）	授賞式典 ※当日：会場参加
市民フォーラム	<大 賞> 高良 倉吉 9月17日(水) 夜	アクロス福岡 （円形ホール）	市民を対象とした 受賞者による講演会等 ※当日：会場参加 ※アーカイブ配信あり
	<学術研究賞> ペク・ヨンソ 9月17日(水) 午後	アクロス福岡 （円形ホール）	
	<芸術・文化賞> ヴォ・チョン・ギア 9月15日(月) 午後	福岡市美術館 （ミュージアムホール）	
学校訪問	9月17日(水) 〃 9月18日(木) ※日程調整中	福岡市内の小学校・ 中学校・高校等	受賞者が学校を訪問し、 生徒と交流

※公式行事のお申し込みは、7月中旬開始予定です（事前申込制）

【問い合わせ先】

総務企画局国際部アジア連携課（福岡アジア文化賞委員会事務局）担当：長岡、山守

お問い合わせ先

Tel：092-711-4930 Fax：092-735-4130

福岡アジア文化賞 URL

<https://fukuoka-prize.org/>

写真素材ダウンロード URL

<https://fukuoka-prize.org/presses/materials->

